

保育園・認定こども園の自己評価

施設名（ たちばなこども園 ） 実施年月日（令和5年5月10日）

※ A B C D の4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

	A 大変 よい	B よい	C 一部 検討を 要する	D 改善 を要する
自己評価項目	評価			
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について				
① 園の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、共有している		○		
2. 保育について（環境と内容）				
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	○			
② 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定している		○		
③ 評価、資料（諸記録）を集積している		○		
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている		○		
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	○			
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	○			
⑦ 季節の草花や野菜等を育てるなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	○			
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		○		
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		○		
⑩ 保育についての話し合いをよくしている		○		
⑪ 報告・連絡によりこどもの情報共有ができています		○		
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています		○		
⑬ 不適切保育への対応、話し合いができています	○			
3. 行事について				
① 行事の種類や実施回数は適切である	○			
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	○			
4. 食育について				
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	○			
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	○			
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		○		
5. 健康管理・保健について				
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	○			
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	○			
③ 乳幼児突然死症候群や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている		○		
④ 年齢別クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	○			
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	○			

6. 安全及び事故防止について				
① 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	○			
② 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	○			
③ 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	○			
7. 職員の研修について				
① 園内・園外研修への参加態勢の充実を図っている	○			
② 研修報告を園内で実施している	○			
8. 保護者支援について				
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	○			
② クラス懇談や個別懇談を行っている	○			
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	○			
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	○			
⑤ 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	○			
9. 地域交流についておよび対外交流について				
① 園庭を、地域の子育て親子等に解放している	○			
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	○			
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		○		
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している		○		
⑤ 他園との交流や小学校との連携を行っている		○		
10. 情報発信および情報管理について				
① 園だより、よいこネット、ホームページ等で、情報発信に努めている	○			
② 行事や子育て支援等を、地域に対して周知している	○			
③ 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	○			
④ 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	○			
11. 運営について				
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	○			
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	○			

総括（次年度に向けて）

園の理念等が、職員により浸透するように、会議の場などで定期的に確認しあうようにする。保育についても、子どもの人数や職員数が多い為、なかなか情報共有をすることが難しいが、その中でも、出来るだけ情報共有できるように努めていく。R4年度は、コロナ禍のため地域交流で外部との交流が思うようにできなかったため、R5年度は地域交流会を定期的に行い、地域に根づく取り組みを進めていきたい。